



秋の風景

令和6.10月412号
【つくし園】
〒791-8041
松山市北吉田町
77-34
TEL(089)994-8636
FAX(089)994-8637

生活支援員 森棟 公介

九月に入りましたが、まだまだ暑い日々が続いています。残暑の厳しい中、先日、稲刈りを行いました。実家が松山市内で兼業農家をしているため、物心ついた時から、秋は稲刈りを手伝っています。ですが半世紀前と比べると、稲刈りの様子もずいぶん様変わりしています。

稲刈りの時期もずいぶん早くなってきました。また以前は、家の周辺も、田園風景が広がっていましたが、今ではスーパー、コンビニが立ち、すっかり住宅街となり、田んぼが少なくなりました。昔は、近所の農家が集まって互いに協力しながら、作業を行っていた記憶もあります。稲刈りから精米するまで、少し日数もかかっていました。現在は、機械がとても進歩し、便利になり収穫も最新の機械を使えば使うほど、楽に、日数も短縮できるようになりました。ですが便利になった反面、機械をそろえるのにお金がかかったり、近所の住宅から機械の音がうるさい、ほこりが飛んでくる等の苦情があったりといったことばかりではありません。だんだんと農業をする人が減っているのが、身に染みて理解できます。

ですがやはり、秋には、家族総出で稲刈りを行うというのが、我が家の伝統であるような気がします。私事になりますが数年前に親父から、作るも止めるも、お前に任すと、言われました。親父もその親父から受け継いで作ってきたので、私も体が元気で今の機械が使えるうちは頑張っていこうと思っっています。少しばかりの特典として新米が早く食べられるということがありますから。

長々とりましたが、とにかくこんな世の中が進歩し変わっても昔から受け継がれてきたことは、大切にしていきたいと思っっています。



10月の開園日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

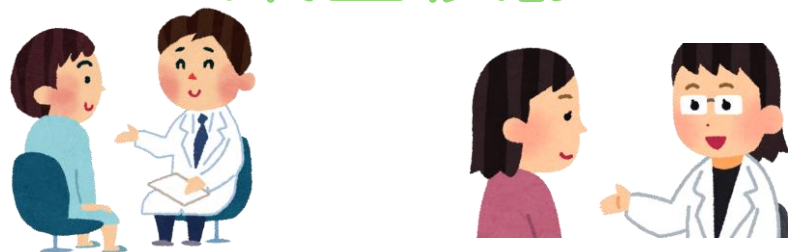
・19日土曜日は開園日です。

10月の行事予定

- ・10日(木)・・・誕生会
- ・28日(月)・・・避難訓練
- ・31日(木)・・・月末大掃除
- ・10月～11月初旬にかけて
一日園外活動を予定しています



集団検診



9月26日(木)に、毎年行っている集団検診を実施しました。日頃、体力作りやストレッチなどを頑張っている利用者みなさんより、職員の方が心配だったりもしますが、検診前に少しでも良い数値が出るよう摂生に努める職員もいました。

自覚のない生活習慣病や隠れた疾患の発見のために検査は欠かせません。身体計測、血液検査、尿検査、X線検査、心電図、内科検診、年齢等によっては腹囲測定、聴力検査、視力検査、便検査を実施しています。

結果が出るのは1ヶ月ほど先ですが、しっかりと身体の状態を受け止めて、日々の健康管理に活かしていきたいと思っいます。

にんにく割り作業



毎年のこの季節がやってきました。そう、香ばしい香りを漂わせながら行うにんにく割り作業です。

にんにくを割り、種を一個ずつに分けて不要な皮や芯を取り除いてカゴに入れていきます。いっぱいになったカゴは支援者の元に運んで行きます。毎年利用者の皆さん楽しみされており、すぐに取り組み始めるようにエプロンや、手袋を着用していざ作業が始まると集中して行いました。

今年は比較的短期間の作業となりましたが、また来年も取り組みたいと、利用者の皆さんにんにく割り作業を楽しみにされている様子でした。



リフレッシュタイム

主に本棟内で作業活動に取り組んでいるメンバーは、午前中のパッキン抜き取りなどの細かい作業を終えた後、近くの席の方達と「1、2、1、2、」と声を出し合い、木の棒を握り、腕を上げたり、引いたり棒体操を行っています。「背中がポキポキなるー。気持ちいいー。」と明るい声が聞かれます。

午後の活動の締めくくりには、プレイルームでルームランナー、マット運動や踏み台昇降運動に、お気に入りの音楽を聴きながら行っています。皆さんが気持ちよく楽しく身体を動かすことができるようにこれからも努めていきたいと思っております。継続は力なりです。

復活！一日園外活動

ついに復活します一日園外活動！コロナの影響で控えていた外出活動を午後半日から再開していましたが、久しぶりに午前中から出かけてゆっくりと過ごせるように計画しています。

今回は3つの選択肢

1. エミフルMASAKI
2. イオンモール今治新都市
3. カラオケ・ビックエコー松山衣山店

の中から利用者の皆さんにイラストや写真を使用して選んで頂きました。

久しぶりの一日園外活動ということもあり、利用者の皆さんあれが食べたい、これが欲しい、この曲を歌おうと様々な想いを膨らませて過ごされています。

次号詳しい様子を掲載いたします。乞うご期待！



文責： 竹野寛・藤岡奈保子